

新庁舎整備事業

アナ： 「市長が語る 2025 三島」第 20 回の今日は、「新庁舎整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 令和 7 年 1 月に策定されました「三島市新庁舎整備基本構想」についてお聞かせいただけますでしょうか。

市長： 現在の本庁舎や中央町別館は、建設から 65 年以上が経過し、老朽化が著しく進行しております。

現状では、多額の費用を投入して改修したとしても使用できる期間には限りがあるため、費用対効果を考え、新庁舎を整備する方針といたしました。

また、現庁舎施設は、本庁舎、中央町別館、大社町別館に庁舎機能が分散し、市民の皆様にはご不便をおかけしている状況ですので、新庁舎整備に合わせて集約させることとしており、これらの基本的な考え方をまとめた基本構想を令和 7 年 1 月にお示ししたものであります。

アナ： この基本構想においては、新庁舎の整備候補地として北田町（現在地）と南二日町広場を挙げ、この 2 か所から、市の方針として南二日町広場での新庁舎整備を選択されておりますね。

市長： 候補地の選定につきましては、平成 27 年度より 9 年間、多くの議論を重ねてまいりましたが、令和 6 年 5 月に市民 1 万人を対象に実施しました「整備地選定に向けた市民アンケート調査」では、6 割を超える方が南二日町広場での新庁舎整備を選択されましたことから、この調査の結果も尊重した上で、新庁舎整備推進特別部会による検討や、部長会議の審議を経て、総合的に判断した結果として、南二日町広場での整備を 6 月定例市議会で御提案させていただきました。しかしながら、2/3 の特別議決に 1 名届かず否決という結果となっておりますが、今後、改めて提案させていただく考えであります。

アナ： 6 割を超える市民の皆様が南二日町広場での整備を希望されたのですね。しかし、3 割強の方は現在地を希望されましたが、その点についてはどのようにお考えでしょうか。

市長： 現在地での建て替えをご希望される方からは、庁舎が中心市街地から移転することによる、まちなかの賑わい低下を危惧する御意見をいただきました。

こちらにつきましては、新庁舎整備事業により分散する庁舎機能を集約することから、いくつもの跡地が生まれます。

この跡地を活用することは、将来に向かってまちなかに一層の活力と賑わいを作り出し、将来に向かって更なる本市の発展を図るための最大のチャンスととら

えております。

まちが持つ潜在的な魅力を最大限に引き出し、多くの方々に来訪していただくことができ、新たな人の流れを生み出していくことができるように
商工会議所や観光協会、商店街連盟等と連携し、市民のお声も聞きながら
「オール三島」で取り組んでいきたいと考えております。

アナ： 寄せられる不安の声には、跡地活用をオール三島で取り組み、
更なる発展につなげるお考えなのですね。

市長： そうですね。市が22世紀に向けて飛躍的な発展を遂げる
チャンスでありますので、跡地活用についてもしっかりと取り組んでいくため、
令和7年度からは、新庁舎整備部署とは別に、まちづくりの専門部署として、
産業文化部に「まちなか賑わいづくり推進室」を創設しておりまして、
「まちなかの賑わいづくりに係るビジョンの策定」に向けて
取り組んでいるところであります。
まちなかに関する今後の取り組みを通じて、庁舎が南二日町広場に移転する
ことへの商店街の皆さまの不安解消にも努めてまいりたいと考えているところで
ございます。

アナ： 新庁舎整備は、単なる現庁舎施設の老朽化や分散化を解消する対応に
とどまらず、更なる市の発展に向けた大きなチャンスという事が、
よくわかりました。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。